



光と静寂の調和

写真・文 安威 俊秀 (右京)

宇治は美しい自然と豊かな文化を持ち、歴史的な魅力が多い地域です。写真は7年前に撮影した平等院のライトアップで、一般向けのライトアップが行われた最初の頃だったと思います。三脚は不可で手持ち撮影となるため、明るめの広角レンズをセット。予想通りの混雑で、鳳凰堂の正面は1〜2分ごとの入替制で列ができていました。早速並んだのですが、後方からしか撮ることができず、もう一度、列に並び再挑戦。ちょうど私のところで進行を止められ、ポールポジションを獲得。運が良かったのか、鳳凰堂真正面の最前列から撮影できました。

夜空に浮かぶようにライトで照らされ、その美しいシルエットが水面に映る佇まいは神秘的で、訪れる人々の心を奪います。まさにその美しさと静けさが表現できた一枚になったと思います。



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637
インターワンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 花山 弘

新春特集

インタビュ
「パラスポーツの魅力に迫る」
2・5面

会員投稿
「3・4面」

京都を知らう 医史編
6面

ご用命は
アミスまで

- 医師賠償責任保険
- 休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
- 針刺し事故等補償プラン
- 自動車保険・火災保険

TEL 075-212-0303

初春のお慶びを申し上げます

本年もよろしくお願ひいたします

2025年 新春
京都府保険医協会 役員・事務局一同

新年明けましておめでとうございます。皆さまには新しい年の出発にあたって、この1年のご健勝をお祈りいたします。

昨年は国内外で大きな政治的変化が起きました。国内では衆議院総選挙で政権与党が過半数を割る中で第2次石破内閣が船出しました。不透明なままの「政治とカネ」、議論抜きの国会運営への国民の一定の審判が下されました。今後の活発な国会論戦を期待します。アメリカでは次期大統領にトランプ氏が返り咲きました。前回以上に米国第一主義、ディール外交を目指しつつあり、世界が固唾を呑んで見守っている状況です。イギリス、フランス、ドイツでも政権交代、政権枠組みの変更がありました。ウクライナ戦争は依然継続され、パレスチナ紛争はより深刻化し、周辺中東国へ戦火が拡大しています。その中で多くの市民、特に子どもが犠牲になっています。平和なくして国民医療は成り立たない、その現実を毎日のように見せつけられています。世界をリードする先進国の新体制はこれを止めることができるのか？

一方で日本被団協がノーベル平和賞を受賞、国連の核兵器禁止条約は締結国*が徐々に増え、世界的に平和を希求する世論は高まりつつあります。



理事長
鈴木 卓

新しい年の出発にあたって

政治や医療にまっとうな道理が通る制度を目指す

京都府保険医協会は昨年、コロナ禍で途絶えていた市民シンポジウム等を開催しました。「体験記シンポジウム『コロナ禍の医師たち』」では最前線を担った医師、職員の奮闘と現場力が印象的でした。また、京都弁護士会・京都府歯科保険医協会との共催で「ほんとに大丈夫？ マイナ保険証」を開催し、講師の荻原博子氏は「現政府の医療DXはなんちゃってDX。しかも強引なやり方であって真の医療DXが10年遅れる」と述べました。その通りだと思います。社会保

険研究会で京都大学教授の黒田知宏氏が「医療DX推進にはTrust & Serviceが必須」と語られたのが核心を突いています。政府・制度・運営への信頼をベースに（それには形だけではない個人情報自己決定権の確立が必要）、国民・医療者が誰一人取り残されず、本当に便利だと実感できる事例の積み重ねがないと医療DXは成就しないとの認識です。

本年は、他にも新しい地域医療構想、かかりつけ医機能報告制度、医師偏在対策、働き方改革等々で医療機関を大きく揺さぶる「改革」が迫られる時です。また医薬品供給不足や昨年の診療報酬改定のさまざまな不合理の押し付けなども積み残しの課題です。

保険医協会はこれらの諸課題に対し、会員の意見を積極的に取り入れて、Trust & Serviceをモットーに今期活動に取り組んで参ります。いろいろな意味での変化が予感される時代の中、全世界に、そして我が国の政治や医療にまっとうな道理が通る制度を目指して会員・医療関係者・府民に根差した活動に邁進する所存です。今後とも皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

※2024年9月24日現在
署名：94カ国・地域、批准：73カ国・地域

聞き手

福山 正紀 副理事長

やついで眼科クリニック
谷井 啓一 医師 (綴喜)

自らの体験を活かして

福山正紀副理事長 私は内科医としてスポーツ医学に関わってきたが、ハルディキャップを持っていく方のスポーツへの認識は十分でないと思っただけです。医療は障害者への配慮があつてしかるべきですが、医療がパラスポーツに対しては、医療がパラスポーツに對してもっとできることがあるのではないかと思っています。谷井先生がパラスポーツに関わるきっかけは何でしたか。



谷井 啓一 医師

谷井 啓一 医師 過去に聴覚障害のご夫婦がトライアスロンの大会に出場するドキュメンタリー番組を見て興味を持ちました。過酷なスポーツに取り組む姿、聴覚障害というハンディキャップを日々の工夫で生活、トレーニングをしている姿など、心を打たれるものがありました。その後、もともと競泳をやっていたことと第2回東京マラソンで走った経験から、トライアスロンの挑戦を現実に思えるようになり、自転車を購入して始めました。トライアスロンの大会は

パラトライアスロンと同時に開催されることが多く、パラトライアスロンは実際に目にする機会が多い競技です。眼科医としてパラスポーツに寄与できないかと思ひ、最初のステップとして資格を取りました。

福山 視覚障害者用補装具適合判定医師という資格ですね。どんな資格ですか。

谷井 ロービジョンと言

だと水泳は1.5km、自転車40km、ランニング10km、長いものだと水泳は3.8km、自転車180km、最後にフルマラソンです。1種目であれば最初に順位が決まってしまうのですが、3種目あるので順位が入れ変わる可能性があります。諦めずに頑張れば挽回できる可能性があると思います。過酷なスポーツなので、ゴールした時の達成感是非常に大きいですね。私は初めてゴールした時に自然と涙が溢れました。パラトライアスロンには視覚や四肢の障害などでカテゴリー分けがあります。車いすの方は上半身の力のみで泳ぎ、自転車は手で回すハンドサイクルを用い、ランは車いすを用います。視覚障害であれば3種目とも伴走者を付けます。選手によって種目の得意不得意があり、ゴールまでに順位が変わります。必死に走っている選手の姿を見ると、人はここまで努力できるのかと感じられることも魅力です。

人はここまで努力できる

福山 私は学生時代から

だと言っています。コロナ禍までは3000メートル級の山を1年に1回は登らないと気が済まなかったのだ、持久性のスポーツの達成感は今も理解できます。医師がこれからパラスポーツに関わっていくにはどうしていけば良いでしょうか。

パラトライアスロン



パラトライアスロンの伴走はパラ選手を上回る競技の実力と伴走する特殊な技術が求められる。例えば二人漕ぎの自転車や、紐を付けて一緒に泳いだり、走ったりする技術など。「選手と一緒に練習する時間も必要で、開業してからは時間を取れず携わるのは難しい」と谷井医師。=撮影：やついで眼科クリニック

谷井 生まれつき全盲の方の世界を私たちが想像することは大変難しいことです。しかし目の見えない環境を実体験することはできません。視覚障害者用補装具認定講習では特殊な眼鏡を用いていろいろな視覚障害の状態を作り出し、体験する実習があります。例えば目が見えないとコップに茶がどのくらい入っているか分からないので、指をコップに入れて量を確かめたり。体験として知り、どうサポートしたら良いかを理解することはできます。「障害のない人はスポーツをした方が良く、障害が

目の疾患診るだけでなく、スポーツする喜び伝えたい

ある人はスポーツをしなればならない」という有名な言葉があります。スイスのハインツ・フライ氏という66歳の今も現役の選手の言葉です。ご自身に障害があつて、パラスポーツの意義を説かれています。パラスポーツは障害のある人にとって身体的なりハビリティーション、健康増進、生きがいになり、仲間と集うことで社会参加にもつながります。眼科医としてロービジョン患者さんの疾患だけを診るのではなく、積極的にスポーツを促していくことが必要だと思っ

福山 年齢を重ねると身体機能が落ちてきます。ある意味で障害と関連する部分が多いです。パラスポーツを特別なものと思えるのではなく、高齢化した時の心得として広めていきたいですね。これからの目標や

谷井 生れつき全盲の方の世界を私たちが想像することは大変難しいことです。しかし目の見えない環境を実体験することはできません。視覚障害者用補装具認定講習では特殊な眼鏡を用いていろいろな視覚障害の状態を作り出し、体験する実習があります。例えば目が見えないとコップに茶がどのくらい入っているか分からないので、指をコップに入れて量を確かめたり。体験として知り、どうサポートしたら良いかを理解することはできます。「障害のない人はスポーツをした方が良く、障害が

展望はありますか。

谷井 国内では年間でもトライアスロンが70大会、パラトライアスロンが5大会程ありますが、都道府県単位でもっとパラスポーツの大会が普及してほしいと思います。そのためにはパラスポーツをする人口を増やしていくことも必要ですね。視覚障害の方に外に出るとこんなに楽しいことに出会えるのだと知ってもらうこと、それが私たちの役割だと思ひます。

特集 パラスポーツの魅力に迫る 医療とパラスポーツの橋渡し

2024年はオリンピック・パラリンピックがパリで開催された。パラスポーツを見る機会が増えたが、スポーツ医として活躍する医師に比べて、パラスポーツに関わる医師は多いとは言えないのが現状だ。医療がもっと障害分野と関わることで、ともにできることは多い。医療とパラスポーツの橋渡しの一つになれば、パラスポーツでメダルを争う谷井啓一医師と徳永大作医師、パラ・パワーリフティング現役選手の中嶋明子氏に、福山正紀副理事長がインタビューし、その魅力に迫った。

ふくやま・まさき
元京都府医師会スポーツ医学委員会委員長、同志社大学スポーツ健康科学部講師(スポーツ内科学)、ふくやまクリニック院長(上京東部)

パラスポーツに関わる人をもっと広げたい

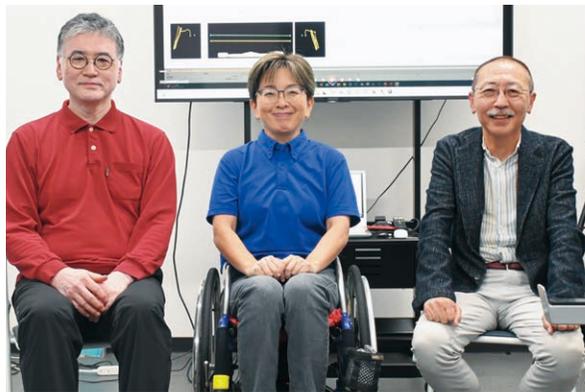


選手

卒業、獣医学博士。マルホ株式会社非常勤講師。2~17年日本代表、パラ・パワーリフティング(2017~22年日本代表)。胸椎損傷で研究者の道を断念し、は兼業アスリートとして、仕事、ケア、研修講師活動を行う。

(2024年10月18日)

選手の間人性も魅力 知ることがその一歩



京都NTCの特色である動作解析はオリジナルのソフトウェアを使用し、試技の3次元動作解析をリアルタイムで行い、すぐにフィードバックができる。海外からも見学に訪れるほどだ。写真は実際の動作解析のモニターの前で。=撮影：サン・アビリティーズ城陽

ね。他に下肢切断や低身長の方も参加されています。

福山 メディカルサポートとは具体的にどのようなことをされるのですか。

徳永 大会・合宿の帯同やスポーツ傷害の治療が大きな仕事ですが、講習会なども行っています。コロナ禍では大会時の感染予防にとても苦労しました。今は京都NTCの特色となっている動作解析も軌道に乗ってきています。一番時間がかかるのはデータ管理と書類作成です。メディカルチェック、褥瘡の検診やTUE(治療使用特例)の書類作成などです。大変な仕事ですが、事務方がしっかりサポートしてくれています。

福山 選手を中心とした「アスリートセンター」を進める上で困難なことはありますか。

徳永 京都NTCは病院と隣接しているためメディカルサポートを行うのにとても良い環境です。京都府や城陽市をはじめ行政のサポートも素晴らしいです。ただ、他の施設からもPTやOT、栄養士などが参加してくれればいいなと思っています。選手はかかりつけ医で合併症の治療をされている人も多く、医療機関同士が連携できる仕組みも必要です。国際大会で必要な英語の書類なども、もつと多くの病院で作成していただけたらいいですね。

福山 次に中嶋さんにお聞きします。パラカヌーからパラ・パワーリフティングに転身されたそうですが、それぞれの競技の魅力は何ですか。

中嶋明子選手 パラカヌーは、水では、自身の障害を忘れられます。逆にパラ・パワーリフティングは障害を受けながら、多くの民間ジムは撮影禁止です。公営プールには泳ぐのにも介助者が必要な所があります。

福山 競技に出会って変わったと思うこと、影響を受けた方はいますか。

中嶋 私は受傷するまで大学でリウマチの研究をしていました。それまで日常生活では他人に対する興味がなかったのですが、車いす生活になったのですが、車いす生活になり周囲からの過干渉を経験し、他の障害の方を見てできることできないことの境界線はどこかなど、他人を見る・興味を持つようになったのは大きくなったことです。

徳永 競技人生で影響を受けた人は、パラカヌーではオーストラリア人のアマンダ・ジェニングス氏です。私より10歳年上ですが、水泳でメダルを取り、カヌーでメダルを取り、パリパラリンピックではアーチェリーに出場されました。

中嶋 一般的な障害者が一人で行くこと断られることも多いです。損傷部位の影響で身体の左右差があるので動画で確認したいと思うのです。

福山 練習をする中で制限などはありますか。

中嶋 一般のジムは障害者が一人で行くこと断られることも多いです。損傷部位の影響で身体の左右差があるので動画で確認したいと思うのです。

徳永 京都NTCは病院と隣接しているためメディカルサポートを行うのにとても良い環境です。京都府や城陽市をはじめ行政のサポートも素晴らしいです。ただ、他の施設からもPTやOT、栄養士などが参加してくれればいいなと思っています。選手はかかりつけ医で合併症の治療をされている人も多く、医療機関同士が連携できる仕組みも必要です。国際大会で必要な英語の書類なども、もつと多くの病院で作成していただけたらいいですね。



京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 徳永 大作医師(宇治久世)

徳永 メディカルサポートを進めるには医療機関同士の連携も必要

患者さんの漠然とした言葉から本質的な課題をすくい上げて

中嶋 持ちを切り替えて、極力余計なことを考えずに競技に専念しています。



聞き手 福山 正紀副理事長

中嶋 私はフルタイムで仕事をしています。

福山 1週間で練習に費やせる時間はどれくらいですか。

中嶋 今は20時まで仕事をし、21時にジムに行くと23時に家に帰る、それが週3日です。カヌーの時は平日に練習しています。

徳永 障害の種類や程度、体格、運動歴などの違いで異なるスポーツ傷害の予防法はまだ確立されていないので、研究が進めばいいと思います。

中嶋 練習をする中で制限などはありますか。

福山 1週間で練習に費やせる時間はどれくらいですか。

中嶋 私はフルタイムで仕事をしています。

福山 1週間で練習に費やせる時間はどれくらいですか。

中嶋 今は20時まで仕事をし、21時にジムに行くと23時に家に帰る、それが週3日です。カヌーの時は平日に練習しています。

徳永 障害の種類や程度、体格、運動歴などの違いで異なるスポーツ傷害の予防法はまだ確立されていないので、研究が進めばいいと思います。



SWpix_2021ワールドカップマンチェスターに出場した中嶋

なかじま・あき 東京大学大学院 社、四條畷学園 パラカヌー(2019年交通事故による会社員に。現在 競技、ボラnte

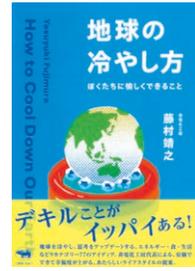
私のすすめ

BOOK

エコ生活を実践するための一冊に

宇田 憲司 (宇治久世)

最近、地球上はどうなっているの？ 去年の夏は35℃を超える日が何日も連続し、天気予報では熱中症(熱射病)になって救急病院に搬送・受診となるより、温室効果ガスCO₂放出を伴う化石燃料燃焼・消費となってもクーラーの電源スイッチを入れ、室内の冷却を図る方が良いとの注意喚起が頻々となされていた。数年前まではクールビズでは代表的な標語として、「NOネクタイ」「室温28℃制限で」なども言われていたが、最近「設定28℃でも聞かなくなつた。クーラーが入電されていても熱中症で



藤村 靖之・著
株式会社晶文社
発行
2023年11月10日
2,860円(税込)

『地球の冷やし方』

「ぼくたちに愉しくびやうな日々」

も下がっていないとか。直射日光を受ける壁面や入光する窓面から熱を吸収して温度上昇が生じていたと放送していた。二重窓や断熱材での遮熱

撤きもする。当院も買つて来て南西壁面に立てた時もあったが、早くも壊れてしまった。では他に何かしているかと問われると、①電灯のスイッチをよく切る②プラス

ト機能付きにしたなど回答する。④が一番効果的であろうが、多数者に実行推進されれば自動車が生産激減して、業界の牽引する分、世界経済が地盤沈下して雇用喪失・大

量失業への可能性もある。即席には行かず困つたものである。ではもっとより良い方策はなからうか、何か見つからぬかと、また本屋巡りをした。「これだ、あったー見つけた」と思ったのが、この『地球の冷やし方』(藤村靖之著)である。しかし、こんなに大きい地球をどうやって冷やすの? と訝しく思いながらとにかく手にしてページをめくってみた。私の上記①②④どころではない。カラー写真付きで77項目にわたり、微に入り細に穿つて考え、9大項目に分類して、しかも「ぼくたちに」愉しくびやうな日々

ように、氏が立ち上げた「自然工房」内で、自然の近くは里山で実践・改良を繰り返しながら、協力者(共同生活者)と一緒に何よりも、「ぼくたち」で「愉しくびやうな日々」を多々実践してられる。例えば、廃車オートバイの車輪に羽根を付けての風力発電(#57)には、感心した。氏の「自然工房」内には、大きな池もあり、井戸、畑、田んぼ等もあり、自給自足も可能な感じで、氏の所で協力・参加して学んだ章太君は究極のエコ生活を実践しようと、自作の軽トラックキャンピングカーで寝泊まりして購入可能な山林を探している(#75)。まねして取り入れ可能なこともある。是非一冊ご購入の上、ご研究下さい。

救急搬送されることも頻々と生じており、NHKのクロージングで、窓や室内の壁面などの表面温度を測定・調査すると、室内温度は少し

簡易的には、例えば「よし」などを立て陰影を作り水

量失業への可能性もある。即席には行かず困つたものである。ではもっとより良い方策はなからうか、何か見つからぬかと、また本屋巡りをした。「これだ、あったー見つけた」と思ったのが、この『地球の冷やし方』(藤村靖之著)である。しかし、こんなに大きい地球をどうやって冷やすの? と訝しく思いながらとにかく手にしてページをめくってみた。私の上記①②④どころではない。カラー写真付きで77項目にわたり、微に入り細に穿つて考え、9大項目に分類して、しかも「ぼくたちに」愉しくびやうな日々

ように、氏が立ち上げた「自然工房」内で、自然の近くは里山で実践・改良を繰り返しながら、協力者(共同生活者)と一緒に何よりも、「ぼくたち」で「愉しくびやうな日々」を多々実践してられる。例えば、廃車オートバイの車輪に羽根を付けての風力発電(#57)には、感心した。氏の「自然工房」内には、大きな池もあり、井戸、畑、田んぼ等もあり、自給自足も可能な感じで、氏の所で協力・参加して学んだ章太君は究極のエコ生活を実践しようと、自作の軽トラックキャンピングカーで寝泊まりして購入可能な山林を探している(#75)。まねして取り入れ可能なこともある。是非一冊ご購入の上、ご研究下さい。



私のお正月

高嶋 和恵 (西陣)

私の子どもの頃の大晦日と言えば、日本レコード大賞↓紅白歌合戦↓ゆくゆく年でした。全国各地の年末の風景が映し出され、厳かな空気の中、除夜の鐘が響いてきます。一通り日本のお寺が流れた後、世界各地の情景が中継されます。世界で一番早く新年を迎えるのが

ハーバーでのプレカウントダウン花火を染しんだ後、メイン会場のハーバーブリッジに向かいます。現地では朝から場所取りし、ビールで盛り上がっている人々でいっぱい。ようやく隙間を見つけて座り込み、その時を待ちます。カウントダウンが始まり、「3、2、1、ハッピー

手荷物検査がありました。ある年は土曜日が重なり、過去最高の人出で身動きが取れませんでした。まして体格の小さい我々は圧死しそうでした。またある年はクルーズ船で夕食やビンゴゲームなどをしながら海上から花火を見て回りました(この時、私は赤ワインをゲットしました)。

オーストラリアです。シドニーでのカウントダウン花火の盛大さに私の目は釘付けでした。いつか世界で一番早い新年を味わってみたいと思っていました。

ニューイヤー!とハイタッチして大騒ぎです。ハーバーブリッジからも海上からも、はたまたビルの屋上からも花火が打ち上げられ、大歓声です。

カウントダウン花火の興奮に味を占め、他国へも出かけてみました。が、またいつかカウントダウン花火を染しめるなら、今度はシドニーで浴衣を着て「カフェシドニー」から見たいと願っています。

夕食後21時からのダーリング・ドニーへ。

この一連の飲みが何物にも代え難く、また行きたくなくなつてしまします。

9・11テロの年は会場に入るのに



文化企画 陶芸教室



まずはヒアタンブラーの土台がら

「手びねり」で唯一無二の作品づくり お手製酒器での一杯が楽しみ

松村 聡 (伏見)

で、ご指導いただき先生に「何を作ろうか考えて来られましたが」と声をかけられ、何も考えて来なかったことに初めて気づきました。家人にお皿かコーヒークップでも作ってあげようなどという殊勝な考えも浮かばないではなかったのですが、酒飲みの方は結局、陶器のヒアタンブラーといふ呑み決め、さつそく作陶開始です。

まずはヒアタンブラーから。底になる円形の土台に、棒状に伸ばした粘土を下から円形に積み上げ、継ぎ目を指で適宜粘土に湿り気を与えながら滑らかにしていきます。歪んでみたり、厚さがちぐはぐになつたり、形を整えるのに悪戦苦闘するも、「いじればいじるほど思い描く形から遠のいてしまう」といった感じもまた楽しいものでした。何とかタンブラーにめどを付けてからぐい呑みへ。これは少し気楽で、粘土の塊に凹みをつけ、思いのままに形作っていくという単純な方法で、各々違った趣の二つのぐい呑みを作ることができました。作陶中、皆で和気あいあい、こんな風にした、こんな使い方、こんな色付け、最後はいつもの色付けの候補から作品の焼き上がりの色を決め、無事終了と相成りました。年末年始にはこの陶器でビールと日本酒が味わえそうです。

楽しい企画に参加させていただき、ありがとうございました。

2024年10月6日、保険医協会がエクスンプ京都八瀬離宮で開催した陶芸教室に参加しました。その日は気持ちの良い快晴、八瀬比叡山口はたくさんの方々が観光客でにぎわっていました。参加者は私も含め5人。教室は明るく落ち着いた雰囲気



写真1

天竜二俣駅から東は文化財駅舎を巡ります。桜木駅、原谷駅。木造平入りのこじんまりとした田舎の駅舎です。遠州の中心の森町、遠州森駅。待合室、改札口、出札口、ホーム全てが映画のセットのようです(写真1)。



写真2

村上 匡孝 (綴喜)

私の旅行記



写真3

天浜線

見どころと鉄分満載 魅惑の地方鉄道

後編



写真4



写真5



写真6

※前編は本紙第3176号(銷夏特集)に掲載しました。

2024年9月29日、私は京都府医師会から2024年度京都府医師会学術賞第3位「原著論文：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の第8波における発熱外来受診患者の病態検討(経口ウイルス薬投与による予後と後遺症の評価)、京都医学雑誌第70巻第2号、33-40頁、2023年」を授与されました。2022年度京都府医師会学術賞第1位「原著論文：COVID-19感染疑似発熱患者連続72名の病態検討(無床診療所発熱外来からの報告) 京都医学雑誌第69巻第1号、107-111頁、2022年」、2023年度京都府医師会学術賞第1位「原著論文：COVID-19感染拡大の持続するため、感染症の完全終息には至らず、日本でも拡大を繰り返し、最近では2024年

7月に感染拡大の第11波流行期に至りました。当院は京都市下京区の無床診療所ですが、地域住民の他に多くの旅行者が訪れます。それゆえCOVID-19の最前線の外来診療に有益な情報が得られると考え、医学学会に適宜報告してきました。今後もCOVID-19の拡大抑制のため継続評価が必要であると考え、第9波流行期および第10波流行期における研究も行い、京都医学雑誌に順次投稿する予定です。これらの論文も皆々ご参考にしていただければ幸いです。

気賀駅。木造駅舎の中のラーメン屋がライターのランチ聖地として有名で、確かにおいしかった(写真3)。西気賀駅。この木造駅舎の中には有名なフレンチ(グリル出雲)が入っています(写真4)。駅味満載のこの路線は、浜名湖の北側を(江戸時代には東海道の裏街道として

お姫さまが通られたという)姫街道に沿って西に向かう眺望美しい鉄路です。浜名湖佐久米駅。浜名湖畔の無人駅は中のカフェと駅前の(牛をデフォルメした形の)トイレが映えスポットです(写真5)。ホームは浜名湖のすぐ脇にあつて、電車に群れるカモメが有名です(写真6)。

奥浜名湖の景色を楽しんで三ヶ日駅へ。木造平屋建ての平入駅舎(文化財)は高い所にあります。日が傾くと夕陽が反射した湖面が色づき、レンタカーでの駅巡りと美車の乗り鉄を混ぜて満喫したある夏の日でした。(2021年7月乗)

スタイルにリノベートされて、カフェがあります(写真2)。金指駅。縁起良さげな名前ですが、金や鉄を採った残りかすを意味する「金ごそ」が流れ込む川の周りにできた町が語源だそうです。ホームと高架貯水槽は文化財指定、瓦屋根の駅舎の中には窯焼ピザ屋さんが入っています。

私と医学会

小西 正則 (下京東部)



What We Can Do For Peace? ~僕たちにできること

詞・曲 小林 充 (左京)

戦争をしない者を
その手で
選ぶこと
沈黙は
同意とされる
誰かが
歌った

僕たちに
できること
持つてる力を
使うこと

Yes, we can!



♪ You can listen here.



92歳になった今も診療を続けている医療法人正木医院（京都市上京区）の正木美智子医師。長男の浩哉医師に医院を引き継ぎながら、自身も週3日診療に携わり、時々往診にも出かける日々を送っている。

北野天満宮の鳥居のすぐそばにある正木医院で、地域とともに開業医人生を歩んできた美智子医師にその半生を語っていただいた。

「大学に行きたい」 祖父や父と同じ医学の道に

生まれは兵庫県です。終戦の昭和20（1945）年3月に神戸大空襲に遭い、家が焼失し、親族がいる京都に移り住みました。兵庫県立神戸第一女学校にいた頃です。終戦後、学校の新制度が始まり、男女共学になりました。京都に転居し、京都府立京都第一高等女学校（現・京都府立鴨沂高校）に入りました。卒業する頃には女性も大学に行ける世相になり、私も大学に行きたいと思いました。祖父や父が医師でしたので、医学部以外の道を想像できなくて、それで今の京都府立医科大学の医学部に入り、医師になりました。第一内科の研修医、助手を経て、大学の同窓生で同じ第一内科の夫・清孝と結婚しました。結婚後は子

内科医になって68年

医療法人 正木医院
正木 美智子 医師（西陣）



信頼するスタッフとともに患者さんを笑顔で迎える美智子医師

まさき・みちこ
昭和6年生まれ
昭和27年 京都府立医科大学入学（第2期生）
昭和31年 京都府立医科大学卒業
昭和40年 医学博士号取得
昭和46年 義父・清の正木医院を承継
スポーツ医の資格を取得し、全国都道府県対抗女子マラソン大会の救護班として救急車に乗り、最後尾で参加して、沿道の人から「救急車も頑張れ！」と応援してもらったこともあった。平成11年9月から令和5年3月まで京都市介護保険認定審査委員を務めた。平成12年にケアマネジャーの資格を取り、介護支援事業所を併設したが、医院の仕事が忙しく間もなくして閉所。以降は医院としての訪問診療や訪問看護を継続している。

育てと研究に追われる日々でした。

正木医院を承継 「診療と往診で忙しかった」

私の嫁ぎ先の正木家は義父の清が開業した正木医院で、昭和2（1927）年に京都市北区の平野神社の東側で開業しました。その後、清は第二次世界大戦に召集さ

れ、終戦後は京都に戻り、北野天満宮のそばの滋賀銀行があった今の場所に医院を移転しました。その頃は医師の数が少なく、非常に忙しかったと聞いています。冬の寒い夜

中でも患者さんから熱が出たと電話があると自転車まで往診に行っていました。義母は心配しながらその帰りを待っていたと言います。やっと家に帰ってきて身体が温まったかと思った頃に、また電話が鳴って往診に行くことも多かったです。それでも当時の医師は当然のように往診に行っていたのは本当にすご

開業医は患者さんの日常を診る仕事 「先生の顔を見ると元気になる」の言葉に報いたくて

補録

昭和2年に清が平野社の東側で正木医院を開業した当時は今のようないまの診療はまだまだ時代で、患者さんからの医療費はお正月とお盆に支払われることが多かった。お金がない方からは米や野菜をいただくこともあった。

戦前、西大路通の西側は田畑が多く「絵描き村」と呼ばれ、堂本印象や菊池契月、山

口華楊などの画家が多く住んでいた。戦後になるとこの辺りは急速に開発され、田畑だった景色はすっかり様変わりし人口が増えた。嵐電（京

福電気鉄道）は白梅町（現・北野白梅町）までになり、北野天満宮の前まで走っていた市電も昭和36年に廃止された。昭和53年5月、木造2階建

の医院を3階建の鉄筋コンクリートに建て替えた。清は「改築を見届けることができたととても喜んだ。

正木医院を継いだのは美智子だったが、清孝が京都第一赤十字病院内科部長を定年退職した後は、二人での診療体制になった。正月の2日は仲の良かった医師仲間を自宅に

招いて宴を楽しむのが清孝の毎年の恒例だった。亡くなる年の正月も大好きなステーキを食べて皆を驚かせた。数日後、美智子が1階の診療所で

「仕事に夢中になり、子どもを十分かまっていられなかった」と謙遜する美智子だが、3人の子は立派に成長し、長男は正木医院を承継、

師会サービスセンター北部診療所での診療にも携わっている。長女は京都市立病院で総合内科担当部長として診療に励む。それぞれが医療に携わり、地域医療に貢献している姿に「夫はもちろん、祖父や父、義父ともども喜んでくれていると思います」と美智子が母親の顔をのぞかせた。

（敬称略）

開業医は患者さんの日々の暮らしも診る仕事です。病気のことも、身体のことだけでなく、患者さんは家庭のこ

「美智子先生に診てもらいたくて」 今も診療に向き合う日々

私もお年になって引退を考えます。でも高齢の患者さんから「先生の顔を見たらホッとして元気になる。私たちを残して死なうとて下さいや」と言われるんです。何て言いますか、患者さんに励まされて診療を続けているようなものです。一番高齢の患者さんは105歳です。高齢化社会になり、高齢者の雇用症候群や認知症の問題が多くなり、京都市の地域包括支援センターや介護施設の方たちと連携して、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなどの介護サービス利用や場合によっては施設入所の手続きをすることが多くなっています。高齢になると誤嚥性肺炎や脳卒中などで亡くなること

が多く、患者さんを見守るのが私の務めですね。

開業医は患者さんの日々の暮らしも診る仕事です。病気のことも、身体のことだけでなく、患者さんは家庭のこ

十分に来たとはとても言えないです。

実父は京都に来てから昭和21（1946）年に京都市中京区で開業しました。その後病気になる、医院を継いでほしいと言われた時は学生で、長男の兄は大学の理学部に在籍していましたので、かなえることができませんでした。実家の医院を継ぐことはできませんでしたが、祖父と父からの「医師」という職業は継ぐことができました。

（文・写真 2024年11月12日 正木医院にて）